



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年2月28日



組合員新年会



100日ウォーキング表彰式

国連が定める持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向け、県では2022年10月に「青森県SDGs取組宣言登録制度」を新設。県内企業などがSDGsのゴール達成に向けて取り組むことを宣言し、そのゴールの達成に向けて行っている具体的な取り組みの「見える化」を図り、県内でのSDGsの取り組みを積極的に推進する。認定された企業は、県独自のSDGs

が紹介されると、会場が驚きの声で大きくどよめいた。その後、新たに組合員となった(株)ヤブシタ製作所の紹介が行われ、青森商工会議所の倉橋会頭の乾杯で祝宴に入った。祝宴では賀詞交換及び名刺交換の時間が設けられ、感染防止対策を講じた中、参加者は交流の機会を楽しんだ。

県SDGs取組登録制度に組合及び組合員6社が登録

青森県では、県内の26の企業や団体をSDGsへの取り組みを積極的に進める事業者として登録。問屋町からは、当組合のほか6社の組合員が登録された。1月6日(金)に青森県庁にて登録証の交付式が行われ、組合からは西理事長が出席し、県企画政策部の東部長から登録証が手渡された。

【登録組合員】

- ▽(株)金入
- ▽(株)ムラバヤシ
- ▽和田ゴム販売(株)
- ▽(株)元木商店
- ▽(株)リビエラ
- ▽リコージャパン(株)

※登録順



登録証交付式



感染防止対策をして賀詞交換

SDGsを推進する問屋町 2023年組合員新年会

組合員新年会が1月6日(金)午後6時よりホテル青森で開催された。新春恒例となっている同新年会では参加者の座席指定や卓上パーティー、シヨン設置などの感染対策を施し、組合員及び来賓を合わせて91名が出席して盛大に新年を祝った。

新年会の開催にあたり西理事長は、昨年10月に組合創立55周年を迎えることができたことへのお礼を述べると共に「組合員と共にSDGsの推進に取り組み、地域社会への貢献活動等を行いながらウイ

ズコロナに対応した持続可能な団地運営を進めていく」と挨拶した。

続いて来賓を代表して青森県知事(三浦商工労働部長代読)、小野寺青森市長、日本銀行青森支店の武藤支店長から祝辞が述べられた。

次に、問屋町合同清掃20年賞の表彰式が行われ、6社に西理事長から楯と記念品が手渡された。

続いて、問屋町100日ウォーキングの表彰が行われ、上位3チームに表彰状と記念品が贈られた。4年目の開催となった同イベントでは年々記録が伸び、今年度優勝チームの1人あたり1日平均歩行数が2万5千歩であったこと

退職金制度など紹介

組合員昼食会

組合員昼食会が2月2日(木)に問屋町会館2階大会議室で開催され、コロナ禍後最多となる62名が参加した。昼食会では、はじめに青森県健康福祉部子育て支援グループが、あおり出合いサポートセンターが取り組むマツチングシステム「あいであう」を紹介した。

次に、(株)ビジネスブレインの佐藤社長が「検証！今どきの退職金制度」をテーマに、近年、福利厚生充実のために導入が進められている企業年

全国の卸団地職員を対象とした研修会を開催

商団連(全国卸商業団地協同組合連合会)に加盟している卸団地の組合事務局職員を対象とした研修会が、第1回は12月2日(金)にオンラインで開催され、49団地から62名が参加。第2回は12月9日(金)に東京で開催され、15団地から16名が参加し、当組合からは成田総務課長と鶴谷職員が出席した。

第1回研修会では、全国中小企業団体中央会の菱沼政策推進部長が「中小企業等協同組合法の基礎知識」について

金制度について解説した。

また、住友生命保険の寺田次長が、全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)に所属する卸団地の組合員企業及びその従業員のみが加入でき、手頃な掛金で多額の保障が受けられる「商団連グループ保険」について説明した。

つづいてスーパーマーケットを青森県内各地で展開する組合員(株)マエダの前田専務が、同社の取り組みについて紹介。「当社は2022年10月に本部をむつ市から第二問屋町に移転。これまでも卸団地内にデリカ工場やミートプロセスセンターなどを開設し、効率化や標準化、鮮度維

説明。つづいて、(協)盛岡卸センターの村松専務理事が「組合事務局のDX化の推進」をテーマに、出退勤管理、スケジュール管理、決済業務のデジタル化など、同卸団地事務局のDX化の取り組みを紹介した。

第2回研修会では、(協)秋田卸センターの堀川常務理事が「組合事務局の役割・事務局職員の心構えについて」をテーマに、事務局職員としてどのような事に気を付けながら業務に取り組むべきか自身の経験を踏まえながら話した。

その後、実践女子大学の吉田教授が講師を務め、「卸商

持を図ってきた。今後も当卸団地を中心に県内各地に店舗展開を進めていく」と話した。最後に事務局から、問屋町SDGs宣言企業募集などについて紹介した。



自社の紹介をする前田専務



団地職員研修会

求人アンケート調査結果

組合では、組合員企業の当団地内での採用状況を調査する求人アンケート調査を毎年実施しており、2022年度の調査結果がまとまった。

2022年度の採用状況(新規学卒者及び経験者)の調査では、49社で185名採用と、昨年より65名も増加。「採用しなかったができなかった」との回答も9社あった。採用者の内訳を見ると、新卒者が55%、経験者が45%との結果であった。

2023年度の新規学卒者の採用状況は、「採用した」と

オーダーメイド講座開催 問屋町ビジネススクール

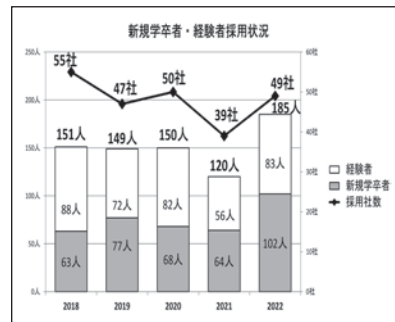
業団地組合が会員企業に貢献するためには「をテーマに講演した。

講演後はグループに分かれて日々の業務上で感じていることや各々の団地で抱える課題、新たな取り組みなど活発な意見交換が行われた。

問屋町ビジネススクールでは、1月27日(金)に組合員のENEOスグループエナジ

回答した組合員が24社、「採用したいができていない」と答えた組合員が10社あった。

組合では引き続き合同企業説明会や問屋町版インターンシップの開催で組合員の人材確保を支援する。



社員11名が参加。「売り込まないのに売れる営業」をテーマに、同社のパンフレットも使用しながら実践的な内容で、初心者にもわかりやすく研修は進められた。

吉見講師の軽快なトークに、最初は堅かった参加者の表情も研修が進むにつれ笑顔になった。受講後に実施したアンケートでは「こんなに楽しかったセミナーは初めてだった」「営業に対して後ろ向きな気持ちだったが、前向きに変わった」など大好評であった。

ビジネススクールでは各企業の要望に合わせたオーダーメイド講座を随時募集しており、ぜひ活用いただきたい。

冷凍食品・食肉・鶏卵・海産品
調味料・惣菜キット 卸

(株) 丸 大 冷 蔵

本社 青森市問屋町2丁目16の8
TEL (017) 738-4171 (代表)
FAX (017) 738-8399
営業所 八戸・弘前・むつ
盛岡・一関・秋田・大館

創業 明治 39 年

●計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
●建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
電気通信工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
健康管理測定用機器(体組成計・血圧計・活動量計他)
レタースケール・キッチンスケール・アルコール検知機
測量機器・測定機器・観測機器・気象観測機器・試験機



株式会社 西衡器製作所

本社 030-0801 青森市新町二丁目6番20号 TEL (017) 773-1311 FAX (017) 723-2368
青森支店 030-0113 青森市第二問屋町四丁目2番30号 TEL (017) 739-9555 FAX (017) 739-9557
八戸支店 039-1121 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL (0178) 21-8100 FAX (0178) 21-8101
弘前支店 036-8093 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL (0172) 26-3890 FAX (0172) 26-3891

事務局職員がAED訓練

1月23日(月)、問屋町会館1階会議室において、事務局職員がAED訓練を行った。今回は組合員の青森総合整備保障(株)の担当者に講師を依頼し、デモ機を使い、体験しながら使用方法を学んだ。

問屋町会館には2014年2月にAEDが設置され、まちかどハートステーションとしても認定されている。これまでも事務局職員は普通救命講習の受講や独自のAED訓練等でAEDを誰でも使用できるように備えている。

卸団地内にはAEDを設置している組合員が22社あり、

組合ホームページ上で設置箇所を公開している。



AED訓練

みちのく銀行問屋町支店
支店名等変更のお知らせ

2025年1月に青森銀行とみちのく銀行が合併して「青

森みちのく銀行」となることに伴い、両行で重複する店名や店番号が順次変更となります。

第二問屋町にあります「みちのく銀行問屋町支店」も次のとおり変更されることとなりましたのでご案内いたします。お取引先への通知や振込みの際の変更をお忘れなく。

▼変更日
2023年3月20日

▼支店名
変更前 問屋町支店

▼変更後
第二問屋町支店

▼店番号
変更前 127

▼変更後
161

業務報告

…主要事項…

1月
6日▽組合員新年会
16日▽金融審査会
17日▽問屋町石膏アート教室
25日▽第2回SDGs推進管理委員会

…問屋町
ビジネススクール…

17日▽決算書の読み方・活かし方(貸借対照表編)①
19日▽決算書の読み方・活かし方(貸借対照表編)②
25日▽営業初心者戦力化セミナー(話し方編)
26日▽経営相談会(第10期)

経済雑感

第三二回

(株)ラインメール青森フットボールクラブ
代表取締役 榊 美樹

第66弾となる今回の経済雑感は、組合員東和電材(株)の代表取締役であり、(株)ラインメール青森フットボールクラブの代表取締役を務める榊オーナーによる経済雑感をお送りする。

昨年、2022 FIFAワールドカップカタール大会でのサッカー日本代表の躍進に列島が沸きました。格上で優勝候補にも挙げられたドイツ・スペインに勝利したことで世界中から注目を集めました。また、「三苦の一ミリ」に代表されたり、日本代表の最後まで



(株)ラインメール青森フットボールクラブ
代表取締役
榊 美樹氏

あきらめない姿勢には感動しましたし、サッカーの素晴らしさが世界中に伝わった大会になったと思っています。私は東和電材グループの代表を務める傍ら、「ラインメール青森FC」という青森市をホームタウンとするサッカークラブを運営しております。皆様には日頃より、我々の活動にご理解とご支援をたまわりまして、あらためて感謝申し上げます。

少したけチームを紹介させていただきます。「ラインメール青森FC」は1995年創設、現在JFLのカテゴリーで戦っております。昨シーズンは柴田峽(しばたけい)氏を新たな指揮官に迎え守りを重視する監

FCはサッカーを通じて、「豊かな地域作り」をクラブ理念に掲げ、「挑戦をしつつ、あらゆる人たちに勇気と感動を与える」というチームミッションの下、「地域との共存」を目指しております。

例えば、サッカー関係者人口の増加は雇用の創出へ繋がります。対戦相手チームの来青に伴う交流人口の増加は観光等の地域振興に繋がります。また、青森の食文化を県外へ発信するためサブライヤの協力を得て試合当日に相手チームへ「青森県産品(県産米や飲料等)の贈呈」を行ったり、「ねぶた雛子の演奏」や「消防団によるまとい振り」等、地域文化・芸術の披露・継承の場としてもサッカーの試合を活用していただいております。

互いの活動を尊重し、各種企業・団体様とwin-winな関係を構築、連携の上、今後サッカーに関する活動に際し「地域との共存」を目指していきたいと考えております。(つづく)

安心 365日 24時間体制 安全

<https://www.8tohnichi.co.jp/>

東日運送株式会社 代表取締役 庄子 哲朗

【業務内容】

- ・半導体機器輸送(超精密機器)
- ・重量物機器輸送&搬入据え付け
- ・医療機器輸送
- ・遊技機輸送&倉庫管理業

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町4-2-2
TEL: 022-231-5036 FAX: 022-231-5634
青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町2-13-20
TEL: 017-764-3866 FAX: 017-764-3867

がんの超早期発見は、早期検査から。

世界初 がんのリスク早期発見サービス

線虫N-NOSE[®]
エヌノーズ

全身15種類のステージ1のがんリスクも判定

株式会社ヒグチ
HIGUCHI 青森市問屋町 1-15-22 ☎017-738-3661
<https://higuchi2014.com/>

肉のいしおか冷凍自動販売機 青森県内6台絶賛稼働中!!

1号機 肉のいしおかスパイス食堂問屋町カリー前
2号機 石岡蔵物店柳町店
3号機 石岡蔵物店藤翔製麺店前
4号機 肉ガチャ専用麺屋福五所川原店前
5号機 石岡精肉店スコール浜館店前
6号機 石岡蔵物店タン専門スコール大野店前

親子でアート体験 石膏アート教室

1月17日(火)に石膏アート教室が問屋町会館で開催された。4年目の開催となる同教室には組合員従業員やそのご家族17名が参加した。

講師は、組合員(株)エーアイサイン代表取締役社長の石澤暁夫氏。同氏は屋外広告業を営む傍ら、水彩、油絵の風景画や石膏、アクリルを駆使した抽象画を描き、近年は岩木山の絵を描き続け、個展を開催するなどアーティストとしても活躍する。

石膏アートは誰でも簡単に短時間で作品を完成できると



石膏アート教室

あって、親子での参加も増え、毎回好評を得ている。参加者は、はじめに木製の板に好きな色の絵の具を塗り、その上に水で溶かした石膏を重ね、手や板を使ってフォルムをデザインしてオンリーワンな作品を作りあげた。

問屋町で合同厄払い

組合では、2月7日(火)に組合員従業員を対象に新年合同厄払いを開催した。

厄年を迎える組合員従業員が1年間平穩無事に過ごせるようにと、組合では2012年から労務対策事業の一環として合同厄払いを開始し、今年で10年目となる。職場に近い問屋町会館でお昼休みの時間を利用して祈禱を受けられるとあって、好評を得ている。

今回の厄払いには組合員従業員6名が参加。1階会議室に祭壇が設置され、問屋町の氏神様である大星神社の沼田欄宜(ねぎ)による厄払いの



問屋町会館で厄払い

祈禱が執り行われた。参加者は祭壇に玉串を捧げ、自身や家族の無病息災を祈願した。最後に「お守り」「お札」「御神矢」を受け取り、厄払いは無事終了した。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、ミツワ電機(株)の古川所長にお話を伺った。

同社は、明治43年に電気製品の卸業者としてミツワ電機商會を創業し、創業50周年を迎えた昭和35年に商号をミツワ電機(株)に変更。電気設備機器をメインに、時代に合わせた住宅設備機器や情報・通信機器、空調設備機器など電設資材の全ての領域を網羅し、幅広い商品群の中からお客様ニーズを満たす最適なコーディネートをご提案している。

「当営業所は、ベテラン・若手関係なくお互いの良い部分を学び元氣がある営業所です。各部署それぞれの役割がある中で、他の部署のことだから知らなくていい、自分の仕事はここからここまでと動ける範囲を決めてしまおうではなく、誰でも対応できるようにお客様の情報共有を行い、風通しの良い職場づくりに取り組んでいます。ミツワグループ全体では、物流の見直しを進めており、低コスト、短納期、安定供給について検討中です。首都圏には既にある大規模物流拠点を地方にも設けることで、朝注文の入った商品を当日中に届けられるようになり、お客様に喜んでいただけるのではないかと考えています」とアピ



ミツワ電機(株)
北東北営業部 青森営業所
所長 古川 健介氏

「ご自身の今後の目標を伺うと「時代の変化に対応できないと取り残されていきます。一人一人が実行し確認し改善ができるよう環境を整え、変化すること」を恐れないチームを作ることが目標です」と語る。問屋町の印象を聞くと「高速道路のインターチェンジが近くにあるので立地は最高ですね。おかげさまで荷物の配達がすぐ早く助かっています。冬場の道路状況が悪くなるのが難点ですが、夏には団地内に花を植えていたり、最近では防犯カメラを付けたりと街とし

て非常に素晴らしいと思います」と話す。プライベートに話が及ぶと「趣味はゴルフとバスケットボールです。暇で何もしない休日は嫌なタイプなので必ず何かで体を動かしています。昨年は忙しくあまりゴルフに行けなかったのですが、今年はたくさん行きたいです。バスケットボールはプレーするのも観戦するのも好きです。最近あまり動けなくなってきました」と笑う。

好きな言葉は「失敗する事を恐れた事は一度もない」というマイケル・ジョーダンの言葉です。高校生の時に聞いて衝撃を受けてから良い時も悪い時も頭から離れず、いつも思い出す言葉です」と締めくくった。(41歳)

編集後記

2023年一回目となる編集後記です。拙文ですが本年もどうぞお付き合いください。今年のお正月は、雪も少なくとても過ごしやすいです。豪雪による雪片付けに追われていた昨年と比較すると雲泥の差です。

その分、雪かきエクササイズは少な目なので体脂肪増加に歯止めがかかりません(汗▼)さて、青森県でSDGs取組宣言登録制度が始まり、当組合も早速申請しました。1回目の交付式では26社が登録されましたが、そのうち組合含めて7社が問屋町の企業だったのは、これまでの普及啓発活動あつてのことと嬉しかったです▼SDGsでは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための17のゴールが設定されていますが、広範過ぎて捉えどころが難しい。これをわかりやすく解説してくれたのが当組合のSDGs推進管理委員会の委員長をお願いしている青森大学の櫛引教授です▼SDGsを「我々の地域・故郷(青森県)を死守するために変革すること」と捉え「1貧困」は低い最低賃金、「3保健」は全国ワーストの平均寿命、「4教育」は低い大学進学率、「5ジェンダー平等」は低位の女性議員比率など意識し、身近な暮らしと仕事を起点に着眼大局、着手小局が肝要だと教えてくれました▼SDGsの課題の多くは青森県が抱える諸課題と重なります。まずは省エネや食品ロス削減、健康、防災、教育など身近なところから取り組みましよう。私もこれから蓄えた体脂肪と戦うところから始めます。(小田切)



mitsuwa

創業 1910年 (明治43年)

電設資材・住宅設備機器の総合商社

ミツワ電機株式会社

代表取締役社長 滝澤 健雄

本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目26番3号
営業拠点 青森・宮城・秋田・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉
東京・神奈川・新潟・長野・静岡・愛知・三重・大阪
ホームページ <http://www.mitsuwadenshi.co.jp/>

SUVらしい力強いスタイリングの軽「デリカミニ」誕生!!



デリカミニ
スペシャル
サイトはこちら



全メーカーOK! 板金塗装ならおまかせ。ディーラーならではの丁寧で高い技術力が自慢です。

問屋町ボディ工場

☎017-739-4361

定休日: 毎週月曜日・他

青森三菱自動車販売(株)

本社: 青森市石江4丁目1-2

☎: 017-781-3311